2018年度

公益財団法人東京子ども図書館

年次報告

〒165-0023　東京都中野区江原町1-19-10　　2019年7月発行
Tel. 03-3565-7711　Fax. 03-3565-7712　URL http://www.tcl.or.jp

“人的財産”――支えてくださる方々

理事長　張替恵子

昨年とりわけ嬉しかったのは、髙橋樹一郎さんによる『子ども文庫の100年――子どもと本をつなぐ人びと』（みすず書房）の出版です。髙橋さんは、2001年から2004年にかけて当館が伊藤忠記念財団と共同で行った「子どもBUNKOプロジェクト」の専任担当として、松岡享子理事長（当時）とともに全国90ヵ所の文庫を「行脚」しました。訪問の際の聞き取りと、その後の文献調査等をもとに執筆された本書は、1970～80年代のピーク時には4000を超えていたといわれる文庫活動の全貌を、明治時代に遡り、現在までの大きなうねりとして見せてくれる労作です。学術的な堅苦しさがなく、全国津々浦々で子どもに本を手渡そうとしたひとりひとりの姿を、敬愛を込めて描いています。

当館についても多くのページをさいて取り上げ「文庫からスタートした一私立図書館が、今日まで継続して活動を続けてきたことは大きな達成であり、私立でありながら、公立図書館の発展に寄与するという現象は世界的にも例を見ない」と結んでくださっています。

さしたる物的財産をもたずに出発した財団法人が、レンガ造りの建物をもつほどに成長したことは本当に夢のようです。しかし私たちは、それにもまさる別の財産をもっている、ということを度重ねて実感し、誇りに思ったこの1年でした。それは、“人的財産”――当館の活動に興味と理解をもち、さまざまの形で館を支えてくださる方々です。

たとえば、月例おはなしの会のある夕刻、こまごました事務作業を手伝ってくださる“あるかもしれないボランティア”、蔵書データベースの構築を大車輪で進めてくださっている元図書館員、基本蔵書目録や『お話のリスト』の選定に加わってくださっている現役図書館員や語り手たち、お話の講習会を修了し、指導する側にまわってくださった講師の方々、ブックトークを楽しむ会をご提案くださったワークショップ受講生、新刊が出る度に数十冊取りまとめてご注文くださる各地の賛助会員や購読会員のみなさん、陰ながら私たちを見守り、遺産を託してくださった方たち……。45年の歩みの中で蓄えた、この人的財産がますます豊かになることを願いつつ、新たな時代に歩を進めていきたいと思います。

『よみきかせのきほん』売れ行き好調

東京子ども図書館 編　B5 判
88p　本体 750 円＋税
ISBN 978-4-88569-227-7

10 月に TCL ブックレット『**よみきかせのきほん――保育園・幼稚園・学校での実践ガイド**』を刊行しました。

集団の子どもたちへの読み聞かせに向く 304 冊を対象年齢別に紹介したガイドで、初心者が絵本を選ぶとき、これはどう読んだらよいか迷うとき、すぐに役立つことを願って、簡明な解説を付しました。当館初のフルカラー印刷ですが、可能な限り低い価格におさえ、グループなどで 10 冊以上を購入する際の割引き価格を設定しました。

おかげさまで、初刷り 5,000 部が 1 ヵ月足らずで完売。2 刷り 5,000 部も 1 ヵ月で底をつき、発行から 2 ヵ月で 3 刷り（10,000 部）になりました。3 月末までで出荷数は 13,000 部を超え、現在も注文は伸び続けています。みなさまのお買い上げに感謝申し上げます。

職員も館内外の講座などで『よみきかせのきほん』をテーマに取り上げました。かつら文庫では、石井桃子さんのエッセイの朗読とともに、収載の『ちいさいおうち』や『いっすんぼうし』などの絵本の読み聞かせを行いました。

きいてたのしむ "よみきかせ" in かつら文庫
2 月 28 日・25 名

ブックトークも盛り上がっています

2015 年の「ブックトーク祭り」に始まったブックトーク関連イベントは、反響に後押しされて回を重ね、夏の催しとして定着してきました。2016 年からは、子どもの本のリサイクル「蚤の市」と合わせた「**ブックトークの会**」として開催、今年が 3 年目となります。小学生対象と中学生対象のプログラムを計 4 回行いました。

同日開催の「**蚤の市**」では、『絵本の庭へ』、『物語の森へ』掲載本コーナーに、なかなか手に入らない貴重な本が並び、多くの方に喜ばれました。

ブックトークの会　8 月 3 日、4 日・217 名
蚤の市　8 月 3 日、4 日・210 名

ブックトーク・ワークショップ

また、新たに、ブックトーク経験者のブラッシュアップの機会として「**ブックトーク・ワークショップ**」を 2 日間開催しました。各自が持ち寄ったシナリオをもとに発表する実習と話し合いを中心とした短期集中型のワークショップで、講師による講評のほか、受講者同士の意見交換も活発でした。全体を通し、学校や図書館で、ブックトークが求められていることを実感する会でした。終了後には、有志による「虹の会」が発足しました。2019 年度には「虹の会」と当館との共催で「ブックトークカフェ・なないろ」を年 3 回開催することになりました。

3 月の「賛助会員の集い」では、ワークショップの成果として内田ふみ子さんと山口玲子さんがブックトークの実演と、新企画「ブックトークカフェ・なないろ」の紹介をしてくださいました。今後も、ブックトークを聞いたり、学び合ったりできる場を提供していきたいと思っています。

ブックトーク・ワークショップ　8 月 21 日、22 日・16 名
講師：張替惠子・杉山きく子

賛助会員の集い

一年のあゆみ

4月
- 第35期お話の講習会開講（6日）
- もりのどくしょ会（21日、他5回）

5月
- 児童室こどもの日開館　こどもの日・えんそく（5日）
- かつら文庫読書会と池田正孝氏S＆T「ドリトル先生航海記」をたのしむ1日（18日）
- 第20期子どもの図書館講座　講師：木村八重子氏（31日、6/29）

6月
- 中野区立江原小学校でお話（7日、8日、12日）
- おとうさん・おかあさんのための絵本とお茶の会（13日、他6回）

7月
- 短期お話の講習会（12日、9/13）
- 池田正孝氏S＆T「アンデルセン」（13日）
- 杉並区立桃井第二小学校でブックトーク（14日）
- 陸前高田市立小友小学校訪問（17日、10/29、2/5）
- 児童室夜のお話会（21日）
- 江古田区民活動センター“平和のバトン事業”に協力（28日）

8月
- ブックトークの会＆蚤の市（3、4日）
- ブックトーク・ワークショップ（21日、22日）

10月
- 『よみきかせのきほん――保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』刊行（17日）
- 第21期子どもの図書館講座　講師：代田知子氏（20日、11/10、1/12）
- 学習院初等科でお話（26日）

11月
- 池田正孝氏S＆T「ニルスのふしぎな旅」（9日）
- 菱木晃子氏講演会「ニルスのふしぎな旅」（9日）
- バザー（23日）

12月
- かつら文庫クリスマス会（8日）
- 児童室クリスマス会（15日）
- 月例お話の会・12月「子どもたちに本を贈ろうプロジェクト」チャリティ（18日）

1月
- 中野区立江古田小学校でお話（16日、17日、22日）
- 練馬区立豊玉東小学校でお話（29日）

2月
- 第34期お話の講習会 修了お話の会（11日）
- かつら文庫お雛様公開（16日、他15回）
- きいてたのしむ“よみきかせ”in かつら文庫（28日）

3月
- かつら文庫ひなまつり（2日）
- 「先輩に聞く」公開講演会　講師：須永祐慈氏（9日）
- 賛助会員の集い（23日）

Ⅰ 概況

今年度の大きな実りは『よみきかせのきほん――保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』が刊行され、多くの読者を得たことです。これまで、読み聞かせに関わる方々へ向けて実践的で、手に取り易いリストを作りたいと考えてきましたが、ようやくその願いが叶いました。松岡享子名誉理事長が、怖い話ばかりを集めて編んだ『おはなしのろうそく32』ともども、多くの方にお買い上げいただきました。

昨年度からの「復刊キャンペーン――今ふたたび、この本を子どもの手に！」、「ブックカフェ・もりのなか」等、『物語の森へ』関連事業をはじめ、各種の講演・講座も活発でした。

児童室とかつら文庫は、幼児のときから通っている常連の子どもたちが、小学校に上がっても、足を運んでくれています。保護者の方々との距離を縮め、読書や育児のご相談に応じられるように、児童室では子どものお話会の時間帯に、お茶を飲みながら歓談する、「おとうさん・おかあさんのための絵本とお茶の会」を始めました。

全国の図書館、学校図書館、児童施設の読書環境を整えることを目指し、新たに「子どもたちに本を贈ろうプロジェクト」も発足しました。これは「『おはなしのろうそく』をすべての子どもたちに！――みんなで愛蔵版を贈ろうプロジェクト」（2016～2017）の名称を改め、贈る本と施設を増やすことで支援の幅を広げた活動です。ホームページ上に特設サイトも設けました。

読書支援では、Yahoo! 社屋内に完成した保育所「HUTTE（ヒュッテ）」に設置する本の選定や職員研修等に協力、当館の新たな可能性を広げる事例となりました。

東京観光財団から補助金をいただき、ホームページ（英語・韓国語）及び、YouTube 映像（英語）、ごあんないリーフレット（英語・韓国語）を製作しました。活動を広く海外へ向けて発信できるようになりました。

支援者拡大のために、みなさまのご協力を仰いだ「お友だち紹介キャンペーン」では、70名もの方が新規賛助・購読会員となってくださいました。

施設の面では、建設より20年を経た当館の建物は、各所で修繕が必要となってきました。これには、2千数百万円もの費用がかかる見込みです。

このような状況の中、今年度はご遺贈という形で多額のご寄付を受ける機会に度々恵まれました。

引き続き、財政面を安定化させる努力を重ねて参ります。

Yahoo! 社屋内 保育所「HUTTE（ヒュッテ）」

■財務諸表

貸借対照表　2019年3月31日現在（単位：円）

科　目	金額
Ⅰ資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	47,111,179
売掛債権	5,281,820
販売用図書	20,800,315
機関誌	2,395,309
前払費用	0
流動資産合計	**75,588,623**
2. 固定資産	
（1）基本財産	
土地	361,224,400
建物	207,191,131
著作権	39,253,978
定期預金	40,000,000
基本財産合計	**647,669,509**
（2）特定資産	
プロジェクト積立資産	1,839,829
公益事業運営積立資産	41,532,957
特定資産合計	**43,372,786**
（3）その他固定資産	
構築物	133,573
什器備品費	676,065
図書	51,366,346
電話加入権	214,363
投資有価証券	0
その他固定資産合計	**52,390,347**
固定資産合計	**743,432,642**
資産合計	**819,021,265**
Ⅱ負債の部	
1. 流動負債	
未払金	315,306
前受金	5,243,280
前受会費	9,937,100
預り金	1,428,165
流動負債合計	**16,923,851**
負債合計	**16,923,851**
Ⅲ正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	**0**
2. 一般正味財産	**802,097,414**
正味財産合計	**802,097,414**
負債及び正味財産合計	**819,021,265**

正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日（単位：円）

科　目	当年度
Ⅰ一般正味財産増減の部	
1．経常増減の部	
（1）経常収益	
①基本財産運用益	16,102,462
基本財産受取利息	27,999
基本財産受取印税	16,074,463
②特定資産運用益	674,930
特定資産受取配当金	674,930
③受取会費	15,297,242
賛助会員受取会費	15,297,242
④事業収益	65,364,343
機関誌購読料収益	7,670,195
講習会・講演会・お話会収益	4,205,070
展示物閲覧料収益	184,000
講師料収益	8,752,961
登録料収益	12,000
施設使用料収益	478,400
著作権使用料収益	1,263,519
出版物売上収益	41,072,264
取材・資料協力収益	1,725,934
⑤受取補助金等	1,100,000
受取民間助成金	1,100,000
⑥受取寄付金	25,711,777
一般寄付	23,247,003
指定寄付	1,343,602
図書寄贈額	1,121,172
⑦雑収益	420,999
受取利息	370
雑収益	420,629
経常収益計	**124,671,753**
（2）経常費用	
①事業費	**103,292,679**
人件費	56,068,674
図書館費	152,416
機関誌発行費	4,842,779
講習会・講演会・お話会費	1,423,401
調査研究費	394,196
人材育成費	200,000
催事費	37,262
広報活動費	1,993,305
おばあさんのいす事業	682,496
出版費	15,978,531
在日ブラジル人・読書支援活動	422,969
3.11からの出発	2,496,292
一般諸費	8,397,844
減価償却費	5,569,874
諸会費	69,340
租税公課	4,563,300
②管理費	**11,119,501**
人件費	7,948,401
会議費	1,327
事務費	1,112,216
一般諸費	1,231,648
減価償却費	771,909
諸会費	54,000
経常費用計	**114,412,180**
評価損益等調整前当期経常増減額	10,259,573
特定資産評価損益等	7,456,432
評価損益等計	**7,456,432**
当期経常増減額	17,716,005
2．経常外増減の部	
（1）経常外収益	
経常外収益計	0
（2）経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	17,716,005
法人税等	70,000
当期一般正味財産増減額	17,646,005
一般正味財産期首残高	784,451,409
一般正味財産期末残高	802,097,414
Ⅱ指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
Ⅲ正味財産期末残高	**802,097,414**